

やきもの雑学

何をやるにも最適な季節の秋ですね。例えば、食欲の秋、読書の秋、スポーツの秋…
みなさんはこの秋、何をしたいですか？今回は芸術の秋ということで、やきもの雑学を紹介します♪

1 日本最古の施釉陶片!?

日本で一番古い釉薬のかかった陶器は、奈良の東大寺正倉院にあります。正倉院には聖武天皇遺愛の品などが納められています。奈良時代には釉薬の知識はなく唐三彩によく似ていたことから、戦前までは唐からの舶来品としてみていました。しかし、昭和37年から40年の調査で国産と断定。陶片の右回転のロクロ目から判断されたようです。世界中で右回転のロクロを使用しているのは日本だけなのです。



2 西洋での磁器作りの始まり。

17世紀のヨーロッパでは、中国・日本の磁器が金より価値が高いといわれていました。貴族たちの間では、白くて薄い磁器を収集することがステイタスとされ、磁器の壺48個と騎兵隊600人を交換した王様もいたそうです。ヨーロッパで最初に磁器づくりに成功したのはドイツです。ザクセン侯アウグスト王が、錬金術師のヨハン・フリードリッヒ・ベトガーに命じ、1709年、白磁作りに成功。これが、マイセンの始まりと言われています。しかし、ベトガーは、白磁製作のノウハウが国外にもれることを恐れたアウグスト王により軟禁され、37才という短い一生を終わりました。どこから漏れたのか1750年にはヨーロッパ中で磁器の生産が始まり、マイセンの「青い双剣」と呼ばれる剣のマークは、その製法が外にもれないようにという意味があります。



3 瀬戸焼の危機を救ったのは？

愛知県瀬戸市といえば、「せともの」の名産地ですが、とても苦しい時期がありました。17世紀前半、九州の有田で磁器の生産に成功し、18世紀後半には、日本中に普及しはじめ瀬戸の街は窮地に陥りました。この危機を救うために、1804年天草東向寺の天中和尚を頼って、一人有田に向かったのは、加藤民吉です。有田では、磁器の作り方は「極秘」とされ、民吉は各地の窯場で働きながら磁器の製法を学ぼうとしたのですが、なかなか技術を身につけることはできませんでした。しかし、平戸の福本左衛門のもとで、親切に技術を教えてもらうことができ、3年後瀬戸に帰り、磁器の生産をはじめ瀬戸の危機を救ったとされています。こうした業績をたたえて、民吉は磁祖として窯神社に祀られ毎年9月の第2土・日曜日に、民吉の偉業をたたえる「せともの祭」が開催されています。



4 信楽焼の狸のルーツ。

信楽焼といえば狸の置物で有名。最初に造ったのは、狸庵の初代藤原鎌造(てつぞう)で、修行時代に京都で見た腹鼓狸の姿を縁起物としてやきもので作ったのが始まりといわれています。狸が有名になるのは戦後のこと。昭和26年、昭和天皇の信楽行幸の時、狸たちに旗を持たせて歓迎。昭和天皇はこれをたいへん喜ばれ、その後全国に狸が知れ渡るようになりました。



みやびがま

雅窯・石川和子さんの作陶展を11/2(水)~7(月)10:00~16:00の6日間 TERRACE_HAUSで開催します。



石川 和子 作陶展
~ ずっと続けて... ~

日時 11/2(水)~7(月) 10:00-16:00
場所 TERRACE_HAUS
(高浜市小池町5-5-5)
カフェガーデンPOT隣

陶芸家・石川和子さんは高浜の伊藤月香氏に師事し、今年で陶芸歴36年。平成6年に独立して安城市高棚町に工房を持ち、教室を始められました。平成11年にログハウス(ギャラリー月雅)を工房隣にOPEN。翌年には足助町に穴窯(月和窯)を築き、個展・グループ展に多数出展。公募展において入賞・入選が数回あります。

今回は石川さんにとって久しぶりの個展。今まで続けてこられた事に対するご主人・家族・生徒さん・お知り合いetcへの感謝の気持ちを込めて個展を企画されています。TERRACE_HAUSが全室『KAZUKOワールド』に! 皆様のお越しをお待ちしております。

『石川和子(月雅) 現代美術家協会会員 / 三河陶芸会員 / 高浜文化協会会員』

“祝” 完成
OH! my home

● Nさんの家 ● 碧南市



●家づくりの話を聞かせてください

私たちは「家を建てよう！」と決めてからシンカさんと出会うまで、たくさんの時間がかかりました。いろんなハウスメーカーを回りましたが、なかなか私たちに合うところがなく悩んでいた時、たまたま飛び込みで入ったシンカさんで加藤さんと出会いました。加藤さんとお話しさせてもらった時から加藤さんに一目惚れ！どこでお願いしようかとでも悩んでいたのに、シンカさんでお願いしよう！と即決でした。他のスタッフのみなさんも暖かく迎えてくださり、そのアットホームなところにも惹かれました。

私たちは土地探しからでしたが、親身になって一緒に土地を探していただき、無事素敵な土地にも出会うことができました。優柔不断な私たちの背中を押していただき、粘りに粘って素敵な家が完成しました。元々そんなにこだわりがなかった私たちも、打ち合わせをしていく中で「ここはこうしたい!」「やっぱりここはこれに変更しよう!」など、たくさんのわがままな意見が出てきてしまい、みなさんを困らせてしまったと思います。そんな時も、みなさん嫌な顔をせず、真剣に対応していただき、むしろ温かいお言葉をもらったり、本当に嬉しかったです!!

庭の芝生は自分たちでやろう! ということで、素人ながら頑張りました。自分たちでやるというのも、家を育てているようでとても楽しいです! 私たちの家の自慢は漆喰の外壁、吹き抜け、デザイン階段...などたくさんあるのですが、シンカの皆さんと家作りができたことが私たちの自慢、そして宝物です。これからも大切な我が家を可愛がっていきたいと思います。そしてこれからもシンカさんのイベントなどにも遊びにお邪魔させていただきたいと思います。本当にありがとうございました!!



平面図



たかはま夢・未来塾 第6回 発明クラブ講座開催!



9月10日(土) 木工工作『いすづくり』が行われ、シンカ協力業者会一進会から、大工の神谷創建さんが講師として参加しました。当日、子供たちが手際よく作業ができるよう、ある程度、事前に材料をカットし、ひとり分ずつ用意。のこぎり、カンナ、電動ドリル、かなづちなど、切る、打つ、削るなどの木工の基礎の作業を子供たちに指導。触ったことのない道具に多少戸惑いもありましたが、神谷創建さんのサポートで時間内に全員無事完成させることができました。

たかはま夢・未来塾は、学校では学ぶことができない様々なプログラムを通して、学校とは異なる環境の中で学ぶ心を養い、感性を磨いていくことでこれからの高浜、そして日本を引っ張っていけるような人材育成を目標に掲げています(H28年度は102人の塾生が在籍)。登録した塾生に対して、さまざまなプロジェクト学習の場を提供しています。(ロボットクラブ、映画ビデオクラブ、英語でアートクラブ、おもしろサイエンスクラブetc.)